



風炉



【茶入飾】

【茶碗飾】

【初炭】

【盆香合】

【濃茶】

【組合せ】

【唐物】

【薄茶】

【立礼】



風炉



茶碗飾



掛物 関不許仮鶏

【掛物】

【花入】

花

【香合】

【釜】

【風炉】

【敷瓦】

【棚】

【水指】

【茶入】

仕服

【茶碗】

替

〃

【茶杓】

「関不許仮鶏」全久院 侶勝筆

掛置籠

「河原撫子」「蜩袋」「甘茶」「縞芦」「しよ麻」「京鹿子」「沙羅」「半夏生」

八掛紋

惺斎好 八ヶ目

惺斎好 唐銅

荒目板

惺斎好 松摺漆丸卓

青釉 末広

利休丸壺写

緑地間道

ねずみ志野 十右衛門

蜩絵 京焼

万古「紫陽花」画讃 宗心宗匠  
席主作「竹の秋」



香合 八掛紋



水指 青釉



茶入 利休丸壺写



茶碗ねずみ志野



茶碗蜩絵



茶碗万古



茶杓竹の秋

【薄茶器】

かき合わせ 八ッ橋絵

蓋置

染付 末広

建水

唐金 エフゴ

【菓子器】

緑釉 松葉 松孤軒好

【干菓子器】

丸 蜩画

菓子

「初蜩」「紫陽花」「葛焼」

「水仙妹が袖」「川島」とらや製

干菓子

「貴船の彩」「千代の友」「花」

「トルコ製ロクム」

濃茶

猶有斎好「楽寿の昔」柳桜園

薄茶

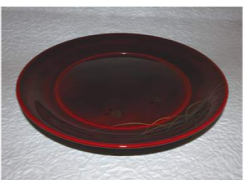
而妙斎好「珠の白」柳桜園



薄茶器 八ッ橋絵



壺置 染付



干菓子器 蜩画

【茶入飾】

◆ 下座にて帛紗さばき

【茶碗飾】

◆ 茶碗は両手で扱う

【盆香合】

◆ 客での香合拝見の仕方

炭斗の置き様

釜の引く位置に注意、体が入る所まで

【組合せ】

◆ 建水を強調するが建水は最も格下の道具であること

【立礼】

◆ 柄杓、蓋置のあつかい

半東の動き

【盆香合】【唐物茶入】【茶碗飾】等、特別な道具は水屋棚ではなく別所に置く。